

令和3年度第2回佐倉市行政評価懇話会

- 1 日 時 令和3年10月29日（金）13時30分～16時30分
- 2 会 場 議会棟1階全員協議会室
- 3 議 事
 - (1) 基本施策評価についての担当課質疑（子育て支援・学校教育・情報発信等）
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

資料

- ・資料1 基本施策評価シート（子育て支援・学校教育・情報発信等）
- ・資料2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

第5次佐倉市総合計画 基本施策評価シート<子育て支援>

基本方針	1.ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち(福祉・健康・子育て)	基本施策名	2. 子育て支援	評価年度		令和2年度					
				取りまとめ推進課		こども政策課					
				関係課		こども保育課、こども家庭課、母子保健課					
12年後の目指す姿	市民が安心して子育てできる環境が整っており、全ての子どもたちが笑顔で健やかに育つ社会を目指します。	施策に係るコスト(千円)		2年度	3年度	4年度	5年度	5,316,581	-	-	-
4年間の取組(施策の内容)	妊娠、出産から子育てまでサポートできる環境の更なる充実を図り、結婚・出産・子育ての希望が叶う環境づくりに取り組みます。妊娠・出産・育児期における母子保健対策の充実に取り組むとともに、家庭や地域で子どもを育てる環境づくりに取り組みます。										
施策の評価	評価(A~E)	(施策の総括・成果)									
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市健康増進計画「健康さくら21(第2次)や第2期子ども・子育て支援事業計画等関連する個別計画に基づき、子育て支援の推進に取り組みました。 ・新型コロナウイルス感染症が拡大する中においても、保育業務等に従事する者に対し慰労金を交付する事業や感染拡大防止策を講じながらの訪問・相談事業や幼児健診、低所得のひとり親世帯等へ対する臨時給付金支給事業など多くの事業に取り組み、市民が安心して子育てできる環境の確保を図ったことから、評価をBとします。 									
新規又は重点的に行った取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・【R2新規】新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令後も保育業務等に従事する者に対し慰労金を交付。 ・【R2新規】「WELOVE赤ちゃん」プロジェクトを実施し、「子育てにやさしいまち佐倉」をPR。 ・【R2新規】低所得のひとり親世帯等に対する臨時給付金を支給。 ・【R2新規】里帰り困難妊産婦への育児支援サービス費用助成事業を実施。 	今後の改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大による保育園の新規申込者数の大幅な減少が一時的な傾向であるかなど保育にかかる需要動向に注視する必要があります。 ・訪問・相談事業や幼児健診等の母子保健事業は子どもの健全な成長や保護者の身近な相談の場として、感染防止対策を講じながら継続していく必要があります。 								
成果指標の進捗状況①	指標名	初期値(H30)	目標値	達成状況							
	子育て支援サービスについて、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合 (こども政策課)	46.9%	目標値	2年度	3年度	4年度	5年度	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
			実績	47.2%	-	-	-				
			達成率	9.7%	-	-	-				
目標値の考え方・根拠	市民意識調査による。調査へ回答した人の5割以上を目指します。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100										
目標値達成に向けての取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの運営や一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業など各種子育て支援サービスの実施(通年) ・こほう佐倉子育て支援特集号の発行(3月) ・【R2新規】WELOVE赤ちゃんプログラムに係るクラウドファンディングの実施(11月~1月) 										
目標値に達しなかった場合の要因	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て支援サービスの利用が落ち込んでいることが一因と考えられます。	今後の改善策・方向性	令和3年度に新たにこども支援部を組織しました。こども支援施策は、市の重要施策の一つとらえ、新たな事業についても研究・検討を重ね、組織横断的に連携し、さらなる充実を図ってまいります								
成果指標の進捗状況②	指標名	初期値(H30)	目標値	達成状況							
	待機児童数 (こども政策課)	15人 (H30年4月1日)	目標値	2年度	3年度	4年度	5年度	0人	0人	0人	0人
			実績	0人 (R3年4月1日)	-	-	-				
			達成率	目標達成	-	-	-				
目標値の考え方・根拠	保育園の待機児童0を目指し、達成後は維持します。 達成率：(初期値-実績値) / (初期値-目標値) × 100										
目標値達成に向けての取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育園の新規開設や私立幼稚園の認定こども園への移行、また既存施設の定員拡大など施設整備への支援 ・令和3年度の保育園等認可定員は2,918人(44園)、対前年度比65人増(1園増)(参考：令和2年度2,853人(43園)) 										
目標値に達しなかった場合の要因	-	今後の改善策・方向性	保育にかかる需要動向を十分に考慮する中で、引き続き、子どもたちが健やかに育つことができる環境の整備に努めてまいります。								
内部評価結果(令和3年7月21日行政評価委員会)	妥当										
内部評価についての意見等	保護者の勤務スタイルの多様化により、保育園等における預かりの多様なニーズが生まれてきており、一時預かりをより簡単に利用できるような仕組みの検討が必要ではないか。										
行政評価懇話会の検証											
内部評価の検証結果	「妥当」又は「改善が必要」										
検証結果の理由											
改善に向けた提言											

第5次佐倉市総合計画 基本施策評価シート<学校教育>

基本方針	4:豊かな心を育み笑顔あふれるまち(教育)	基本施策名	1. 学校教育	評価年度		令和2年度	
				取りまとめ推進課	指導課	関係課	学務課、教育センター
12年後の目指す姿	感性を豊かに働かせながら、自らの可能性を發揮し生涯にわたって学び続ける人間育成のための、学校教育における授業の質の向上を図り、個人の様々な能力を開花することができる教育を目指します。	施策に係るコスト(千円)		2年度	3年度	4年度	5年度
				186,855	-	-	-
4年間の取組(施策の内容)	中・長期の教育指針である佐倉教育ビジョンに基づき、基本理念や目指すべき市民像の実現に向けて、各種教育施策を実施します。また、佐倉を素材とした道徳教材の作成や読書活動の推進、社会人活用やキャリア教育などの指導プログラムを実施し、子どもたちの心の居場所となる学校づくりを推進します。 郷土佐倉に対する誇りや愛着を育むことを目的とする佐倉学を普及・定着させます。						
施策の評価	評価(A~E)	(施策の総括・成果)					
	C	<ul style="list-style-type: none"> 第3次佐倉教育ビジョンに基づき、「子どもが輝く」学校教育を推進しました。 小学5年生から中学3年生までを対象に佐倉市学習状況調査を実施しました。 成果指標について、「学習状況調査の平均正答率(活用力)」において初期値を上回りましたが、「学習状況調査の平均正答率(基礎学力)」及び「佐倉の歴史や自然に興味がある児童生徒の割合」については初期値を下回りました。新型コロナウイルス感染症により授業時数が若干減じたことが影響されたものと考えますが、評価はCとします。 					
新規又は重点的に行った取組み	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒の心のケアの充実のため、各校では教育相談の回数を増やしたり、スクールカウンセラーや心の教育相談員による相談業務の充実に努めました。 地方や他の市町村の学習では、常に佐倉市と比較しながら関連づけ、佐倉の魅力を児童生徒に伝えました。 	今後の改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は中止となった研修会については、オンライン等により実施することにより、教職員のさらなる指導力の向上を目指します。 地域に根差した体験的な学習や校外学習の充実を図り、佐倉の郷土愛を深めます。 				
成果指標の進捗状況①-1	指標名	初期値(H30)	目標値	達成状況			
	学習状況調査の平均正答率(基礎学力) (教育センター)	81.3%	目標値	2年度	3年度	4年度	5年度
			実績	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
			達成率	80.2%	-	-	-
達成率	初期値以下	-	-	-			
目標値の考え方・根拠	佐倉市学習状況調査における小学校1年生から中学校3年生を対象とした国語A、算数・数学Aの平均正答率。佐倉市学習状況調査作成委員会が目標とされた基準(90%)の平均正答率達成を目指します。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
成果指標の進捗状況①-2	指標名	初期値(H30)	目標値	達成状況			
	学習状況調査の平均正答率(活用力) (教育センター)	70.3%	目標値	2年度	3年度	4年度	5年度
			実績	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
			達成率	70.5%	-	-	-
達成率	目標達成	-	-	-			
目標値の考え方・根拠	佐倉市学習状況調査における小学校5年生から中学校3年生を対象とした国語B、算数・数学Bの平均正答率。佐倉市学習状況調査作成委員会が目標とされた基準(70%)の平均正答率達成を目指します。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
目標値達成に向けての取組み	<ul style="list-style-type: none"> <基礎学力> ・【R2新規】小学校は新教科書に合わせ、問題の全面改訂 ・中学校は昨年度までの状況を踏まえ、問題の調整 <活用力> ・昨年度までの状況を踏まえて、問題の調整 						
目標値に達しなかった場合の要因	<ul style="list-style-type: none"> <基礎学力> 児童生徒の実態に合わせた指導方法の検討を重ねていく必要があると考えられます。 	今後の改善策・方向性	基礎学力・活用力の向上に向け、課題となる内容を抽出し、指導方法の改善を促していけるよう、周知を図ってまいります。				
成果指標の進捗状況②	指標名	初期値(H30)	目標値	達成状況			
	佐倉の歴史や自然に興味がある児童・生徒の割合 (指導課)	61.1%	目標値	2年度	3年度	4年度	5年度
			実績	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%
			達成率	62.0%	-	-	-
達成率	15.2%	-	-	-			
目標値の考え方・根拠	学校1年生から中学校3年生を対象とした学習状況調査において「そう思う」、「すこしそう思う」と回答した児童生徒の割合。年1%程度の増加を図ります。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
目標値達成に向けての取組み	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の指導において、常に佐倉と比較しながら関連づけ、佐倉の魅力児童生徒に伝えた。 佐倉学研修会を定期的に開催し、郷土愛を育む指導方法について協議した。 						
目標値に達しなかった場合の要因	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大による休校の影響により授業時数が減り、佐倉市と関連付けた丁寧な授業を展開することが要因と考えられます。 	今後の改善策・方向性	佐倉の魅力を伝える授業の在り方について教職員の研修を重ねるとともに、授業においては佐倉学の充実に努め、児童生徒の郷土に対する関心を深められるよう努めます。				
内部評価結果(令和3年7月21日行政評価委員会)	妥当						
行政評価懇話会の検証							
内部評価の検証結果	「妥当」又は「改善が必要」						
検証結果の理由							
改善に向けた提言							

第5次佐倉市総合計画 基本施策評価シート<情報発信・共有、広聴>

		評価年度		令和2年度			
基本方針	5.市民とともに創る多様性のある持続可能なまち(市民参加・自治体運営)	基本施策名	3.情報発信・共有、広聴	取りまとめ推進課		広報課	
				関係課		秘書課、地域創生課、行政管理課、情報システム課	
12年後の目指す姿	地域の魅力を効果的に情報発信し、佐倉市の知名度向上を図ります。また、市民が必要な情報を必要ときに得られる、公正で開かれた市民主体の市政を目指します。	施策に係るコスト(千円)		2年度	3年度	4年度	5年度
4年間の取組(施策の内容)	市内外へ佐倉市の魅力をPRする取組を強化するとともに、各広報媒体間の連携を含めた一体的な活用により、情報発信の充実と、市民生活における利便性の向上を図ります。また、市が保有する情報資産の一覧化やデータの整備、拡充に努めるとともに視認性に優れた情報検索方法を研究し、市民が必要とする情報について、個人情報保護に留意しながら積極的な提供を進めます。市民意見の集約・一元管理を進め、その分析と活用を進めるとともに、市民意見の市政への反映状況について、さらなる周知を図ります。						
施策の評価	評価(A~E)	(施策の総括・成果)					
	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市の情報発信に大きな注目が集まりました。市公式ウェブサイトでは日々新しい情報を発信しましたが、発信にあたってはプル型の特性を考慮し、メール配信やtwitter、ヤフーアプリなど、プッシュ型の媒体と組み合わせた発信を行いました。また、更新タイミングを広報紙の発行と合わせるなど、インターネットを活用できないかたとの情報格差が生じないよう配慮しました。 市民意見について内部のシステム化を進め、3月に稼働しました。 成果指標について「市民の声が市政に反映されていると思う市民の割合」は目標値を下回りましたが、初期値より4.5%伸びていることから、悪い数値ではないと評価しています。 以上のことから、本施策は概ね順調に進捗しているものと判断し、評価をBとします。					
新規又は重点的に行った取組み	<ul style="list-style-type: none"> 【R2新規】特設サイトを開設。将来に希望が持てる情報を発信しました。 【R2新規】公式twitterを本格的に運用しました。 【R2新規】佐倉市公式LINEを立ち上げ、新型コロナウイルス・子育て施策関連の情報発信を開始しました。 【R2新規】佐倉市UIターン相談窓口を設置しました。 【R2新規】市民の声システムを稼働し、業務を効率化しました。 	今後の改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの情報は日々変化しており、市公式ウェブサイトを中心とした情報発信に努めるとともに、佐倉市の魅力をPRしていきます。 情報公開について積極的な情報提供を推進するとともに、佐倉市が保有する個人情報の取扱いを一層留意していきます。 市政へのご意見等受理から回答(対応)までの進捗管理をより丁寧に行うとともに、市民自らが市政に関する情報を取得しやすい情報環境を整えていきます。 				
成果指標の進捗状況①	指標名	初期値(H30)	目標値	達成状況			
	ホームページ(全体)アクセス件数	約718万アクセス	目標値	2年度	3年度	4年度	5年度
	(広報課)		実績	800万	842万	883万	924万
			達成率	1,745万	—	—	—
目標値の考え方・根拠	初期値(実績値)から約30%のアクセス数向上を目指します。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
目標値達成に向けての取組み	【R2新規】新型コロナウイルスによる新生活に寄り添うサイト「ほっとすまいる佐倉」を制作。定期的な情報発信を行いました。 【R2新規】公式twitter「いいね！佐倉市」の運用を行い、フォロワー数5,000人を達成しました。						
目標値に達しなかった場合の要因	—	今後の改善策・方向性	目標値は新型コロナウイルスの影響により達成したものです。引き続き魅力ある情報発信を進め、真の目標達成を目指します。				
成果指標の進捗状況②	指標名	初期値(H30)	目標値	達成状況			
	市民の声が市政に反映されていると思う市民の割合	13.6%	目標値	2年度	3年度	4年度	5年度
	(秘書課)		実績	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%
			達成率	18.1%	—	—	—
目標値の考え方・根拠	市民意識調査による。初期値から約20%向上を目指します。 達成率：(実績値-初期値) / (目標値-初期値) × 100						
目標値達成に向けての取組み	市民の声に寄せられた意見と担当部署による回答をウェブサイトに掲載(概ね月1回更新)						
目標値に達しなかった場合の要因	「わからない(どちらともいえない)」という回答の割合が多いことから、市の取り組みを十分に発信できていないことが一因と考えられます。	今後の改善策・方向性	今後もウェブサイトでの積極的な事例紹介に取り組んでまいります。				
内部評価結果(令和3年7月21日行政評価委員会)	妥当						
行政評価懇話会の検証							
内部評価の検証結果	「妥当」又は「改善が必要」						
検証結果の理由							
改善に向けた提言							

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について
(令和2年度)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や市民生活を支援し、地方創生を図ることを目的として創設された国の交付金です。

佐倉市には1,885,974千円が交付され、そのうち1,317,534千円を令和2年度事業に充当しました。(残り568,440千円は令和3年度に繰り越しています。)

交付金は、「感染拡大の防止」、「市民の暮らし支援」、「新しい生活様式の推進」、「事業者等支援・経済の活性化」といった幅広い分野の44事業に活用しました。

令和2年度に実施した事業が終了したことに伴い、事業の実施結果について報告します。

◆感染拡大の防止 17事業

①防災資器材等管理事業	総務費
②障害者福祉施設等感染拡大予防事業	民生費
③居宅介護事業所感染拡大予防事業	民生費
④公立幼稚園、小中学校感染症対策用消毒薬等購入	衛生費
⑤公共施設で使用する感染症対策用消毒薬等購入	衛生費
⑥地域医療対策	衛生費
⑦健康危機対策(感染症対応分)	衛生費
⑧休日夜間急病診療所における感染症対策強化	衛生費
⑨小児初期急病診療所における感染症対策強化	衛生費
⑩検診事業	衛生費
⑪健康危機対策(新しい生活様式対応分)	衛生費
⑫感染症等予防事業(任意予防接種)	衛生費
⑬スマートオフィスプレイスにおける感染症対策	商工費
⑭公園内安心空間確保	土木費
⑮学校保健特別対策事業費補助金	教育費
⑯市民体育館における感染症対策	教育費
⑰図書館機器等整備	教育費

◆市民の暮らし支援 15事業

⑱緊急対応型任期付職員採用	総務費
⑲障害福祉を支えるひと支援事業	民生費
⑳介護を支えるひと支援事業	民生費
㉑子育て世代の相談窓口開設	民生費
㉒ひとり親家庭等臨時給付金支給事業	民生費
㉓幼稚園等臨時休園に伴う預かり保育料補助	民生費
㉔生活福祉資金の特例貸付借入者への給付金	民生費
㉕新生児すくすく応援給付金*	民生費
㉖保育業務等従事者慰労金交付	民生費
㉗子ども・子育て支援交付金	民生費
㉘母子保健衛生費補助金	衛生費
㉙小中学校就学援助事業	教育費
㉚学校臨時休業対策費補助金	教育費
㉛給食継続実施支援事業	教育費
㉜学校行事中止等に係る経費補助事業	教育費

◆新しい生活様式の推進 3事業

㉝遠隔地会議システムの導入	総務費
㉞テレワーク環境の整備	総務費
㉟小中学校情報機器整備事業	教育費

◆中小企業等支援、経済の活性化 9事業

㊱地域公共交通対策	総務費	㊲中小企業支援事業	商工費
㊳農業支援	農業費	㊴小規模事業者家賃支援	商工費
㊵小規模事業者応援給付金	商工費	㊶プレミアム付商品券発行支援事業*	商工費
㊷商業・サービス業応援寄付プロジェクト	商工費	㊸緑と花づくり事業	土木費
㊹キャッシュレス事業者との協力による市内消費喚起及び新しい生活様式の推進	商工費		

*…一部を令和3年度に繰り越した事業

■事業分類別の交付金充当額・充当率(単位:円)

事業の分類	事業数	事業費	交付金充当額	割合
感染拡大の防止	17事業	355,776,206	287,043,000	21.8%
市民の暮らし支援	15事業	319,121,649	294,961,000	22.4%
新しい生活様式の推進	3事業	336,557,253	324,161,000	24.6%
事業者等支援、経済の活性化	9事業	423,542,610	411,369,000	31.2%
合計	44事業	1,434,997,718	1,317,534,000	

■費目別の交付金充当額・充当率(単位:円)

費目	事業数	事業費	交付金充当額	割合
総務費	5事業	60,275,298	48,660,000	3.7%
民生費	11事業	295,175,673	275,890,000	20.9%
衛生費	10事業	48,469,954	35,672,000	2.7%
農業費	1事業	66,099,000	64,199,000	4.9%
商工費	7事業	337,837,690	328,128,000	24.9%
土木費	2事業	7,969,935	7,741,000	0.6%
教育費	8事業	619,170,168	557,244,000	42.3%
合計	44事業	1,434,997,718	1,317,534,000	

■事業の成果(1つの事業で複数の成果がある場合もあります。)

事業の成果	事業数
①新型コロナウイルスの感染拡大防止につながった	17
②子育て世帯をはじめとする市民の負担軽減につながった	9
③医療提供体制の強化や医療機関、医療従事者等への支援につながった	3
④社会生活の維持に必要な事業者等の支援につながった	4
⑤学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備や子どもの居場所確保につながった	3
⑥雇用や事業の継続など中小企業等への支援につながった	9
⑦地域経済の活性化につながった	4
⑧新しい生活様式に合わせた環境整備につながった	4

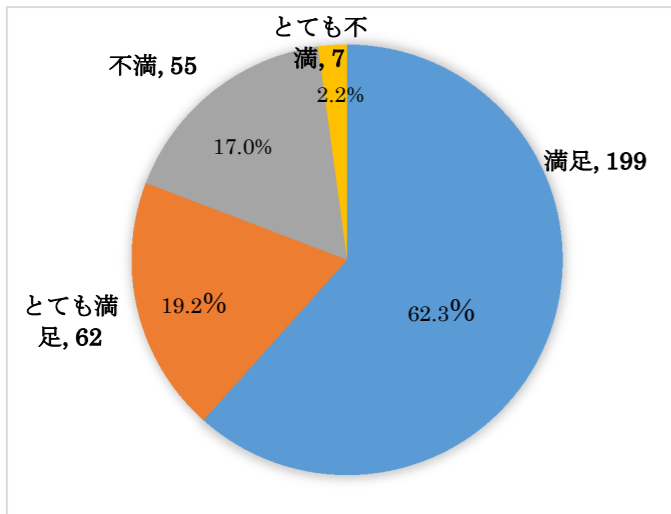
まとめ(総合評価)

本市では、交付金活用にあたり、限られた予算の中で最大の効果をもたらすよう、国や県が行う支援を受けてもなお、日常生活や事業継続に多くの困難を来す市民や市内業者を対象とする追加支援を行うこととして、感染拡大防止のほか、子育て世帯向けの支援、事業者向けの支援、さらには新しい生活様式の環境整備など、きめ細かく幅広い独自策を実施し、それぞれの目的に寄与する成果を挙げることができました。

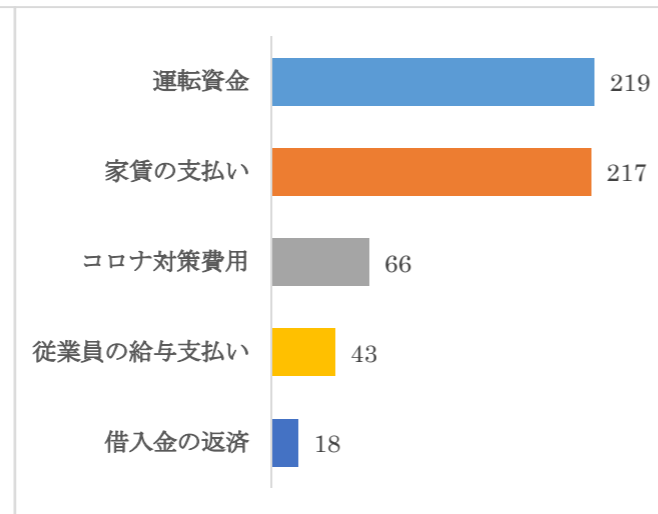
【参考】中小企業等支援に係るアンケート調査（抜粋）

1. 「③⑧小規模事業者応援給付金」「④②小規模事業者家賃支援金」受給者アンケートより
（売上前年同月度比 20%減少の小規模事業者に各 10 万円（最大））

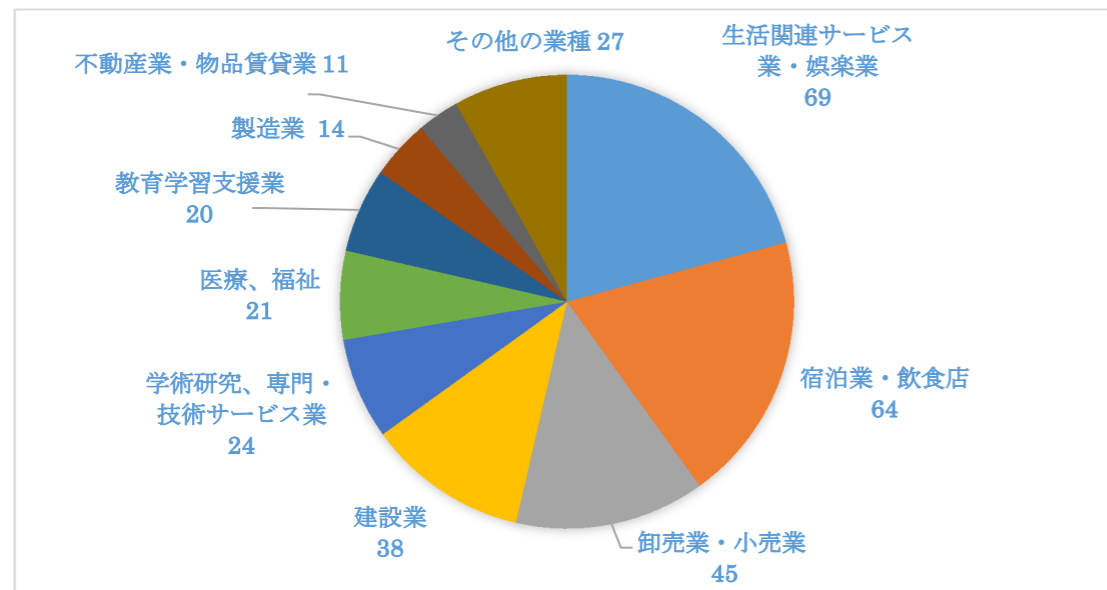
○給付金・支援金事業全体の満足度



○給付金・支援金の使途



○受給者の業種



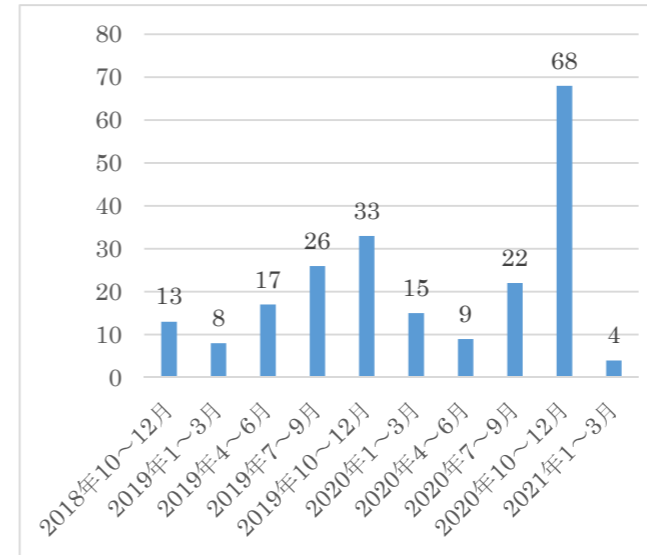
当該事業による給付金・支援金は、幅広い業種の事業者を受給されており、新型コロナウイルス感染症がさまざまな分野の事業者に深刻な影響を与えていることがわかります。

それらの事業者に対する支援が、8割を超える満足度を得ていることや、「運転資金」「家賃の支払い」「コロナ対策費用」「従業員の給与支払い」「借入金の返済」と、さまざまな使途に使われたことから、当該事業の目的である「事業者の事業継続」の一助となったものと考えられます。

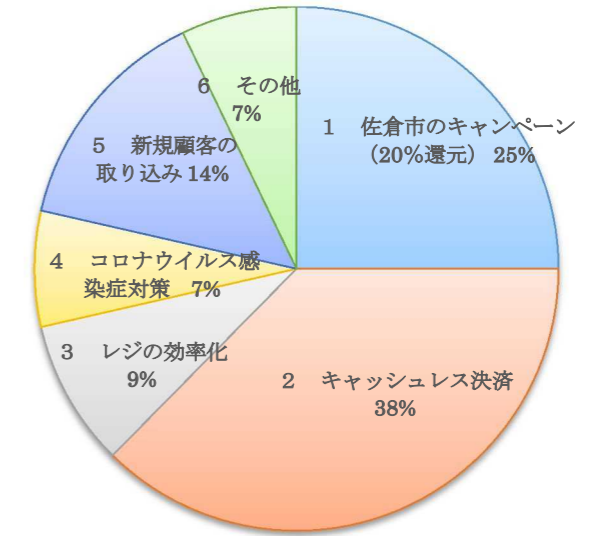
2. 「④⑩キャッシュレス事業者との協力による市内消費喚起及び新しい生活様式の推進」
（キャッシュレスで最大 20%戻ってくるキャンペーン）参加店舗アンケートより

◆キャッシュレス決済の導入について

○キャッシュレスの導入時期

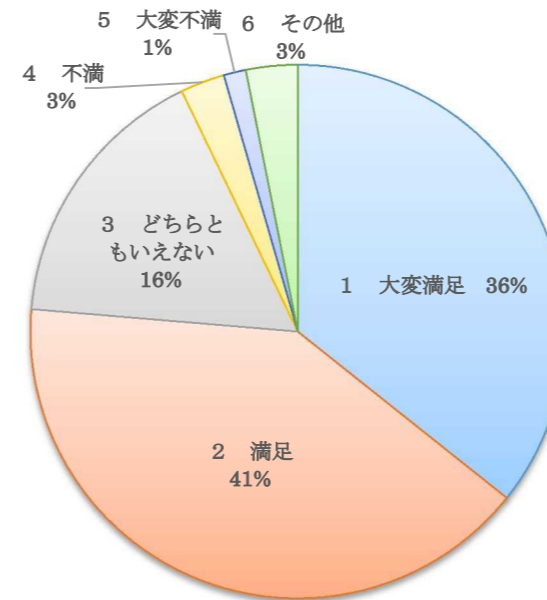


○導入のきっかけ

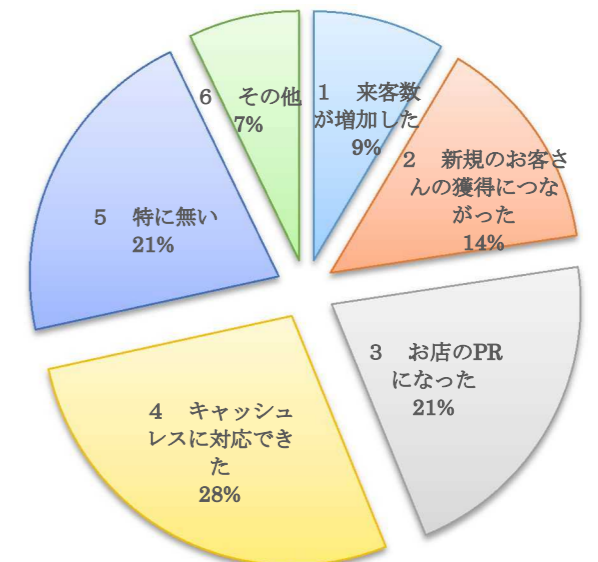


◆キャンペーンについて

○キャンペーンの内容の満足度



○参加してよかったこと



キャンペーンを実施した 11 月～1 月の前後に導入した事業者が多いうえ、導入のきっかけに「市のキャンペーン」との回答が 25%を占めていることから、今回の事業がキャッシュレス決済の導入推進に寄与したものと考えられます。

また、キャンペーンに参加することにより、キャッシュレス対応（28%）はもちろん、来店客数の増加、新規顧客獲得などにも繋がっており、「新しい生活様式の推進」「市内消費喚起」という当該事業の目的を達成することができたものと考えられます。

■令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	R2 実績額	コロナ交付 金充当額	国庫 補助額 (コロナ除く)	その他	一般 財源	主な実績等	担当所属名 (カッコ内は R2所属名)
◆感染拡大の防止									
1	防災資器材等管理事業	①避難所における感染症の拡大を防止する。 ②感染症の拡大を防止するための備品購入	29,009,200	19,209,000	0	4,616,000	5,184,200	パーティション(380張)、多目的簡易ベッド(760台)を導入し、市内避難所(38箇所)に適切に配置することで、市内避難所における感染症拡大防止体制を整備することができました。	危機管理課 (危機管理室)
2	障害者福祉施設等感染拡大予防事業	①②市内通所サービス事業所等に対し、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、環境改善や衛生用品等必要な物資の購入に係る費用を補助する。	2,595,348	2,521,000	0	0	74,348	市内障害福祉サービス等事業所を運営する44事業所に対し、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、環境改善や衛生用品等必要な物資の購入に係る費用を補助しました。 ・支援した施設:市内通所サービス事業所等(さくらんぼ園・佐倉福葉苑等) ・支援率:53%(支援箇所数/対象箇所)	障害福祉課
3	居宅介護事業所感染拡大予防事業	①②居宅介護サービス事業所等に対し、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、環境改善や衛生用品等必要な物資の購入に係る費用を補助する。	9,013,512	8,754,000	0	0	259,512	市内居宅介護サービス事業所(157事業所)に環境改善・衛生用品等の物資購入に係る費用(10千円×6か月)を支援し、各施設の新型コロナウイルス感染症拡大予防に寄与しました。	介護保険課
4	公立幼稚園、小中学校で使用する感染症対策用消毒薬等の購入	①公立幼稚園、小中学校において、適切な感染防止対策を講じるため、エタノール消毒薬、次亜塩素酸、消毒用手袋等を購入する。 ②公立幼稚園、小中学校で使用する感染症対策用消毒薬等	6,016,569	3,723,000	2,087,000	206,500	69	市内公立幼稚園(2園)、小中学校(34校)で適切な感染防止対策を講じるため、手指消毒薬(エタノール)、スプレーボトル、施設消毒薬(次亜塩素酸)、施設消毒用手袋を購入・分配することで、安全で安心な教育施設運営に寄与しました。	健康推進課 (健康増進課)
5	公共施設で使用する感染症対策用消毒薬等の購入	①公共施設において、適切な感染防止対策を講じるため、エタノール消毒薬、次亜塩素酸、消毒用手袋等を購入する。 ②公共施設で使用する感染症対策用消毒薬等	17,982,176	9,850,000	6,910,000	1,222,100	76	公共施設(本庁、保育園、公民館他)で適切な感染防止対策を講じるための手指消毒薬、手袋、感染対策用シールド等を購入し、施設の安全・安心確保に寄与しました。 ・対象施設:本庁、出張所、保育園、佐倉草ぶえの丘、公民館、図書館、音楽ホール 他	健康推進課 (健康増進課)
6	地域医療対策	①感染者疑い受入れ体制を整えるために、発熱外来に対応する市内医療機関を助成する。 ②発熱外来に対応する市内医療機関に対する補助金	7,400,000	7,187,000	0	0	213,000	発熱外来に対応する市内医療機関(37医療機関)に200千円助成し、新型コロナウイルス感染症の感染者疑い受入れ体制を整備しました。	健康推進課 (健康増進課)
7	健康危機対策(感染症対応分)	①②備蓄していたマスクを補填するほか、PCR検査を市内で実施するにあたり必要となる医療用テントや防護服を購入する。	1,473,142	1,416,000	15,000	42,000	142	新型コロナウイルス感染症患者と接触したが濃厚接触者とされなかった者、また、高齢者施設等への新規入所者で希望する者に対し、PCR検査等を行ったほか、医療用テントを購入し、検査体制を整備することができました。 ・PCR検査等件数 47件	健康推進課 (健康増進課)
8	休日夜間急病診療所における感染症対策強化	①②休日夜間急病診療所における感染症対策を強化するため、消耗品等を購入する。	595,780	0	0	595,780	0	防護ガウン、手指消毒用アルコール、非接触型体温計等を購入することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、休日夜間急病診療所の運営に寄与しました。	健康推進課 (健康増進課)
9	小児初期急病診療所における感染症対策強化	①②小児初期急病診療所における感染症対策を強化するため、備品等を整備する。	929,046	0	0	929,046	0	オゾン発生装置、非接触型体温計、手指消毒用アルコールを購入することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、小児初期急病診療所の運営に寄与しました。	健康推進課 (健康増進課)

■令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	R2 実績額	コロナ交付 金充当額	国庫 補助額 (コロナ除く)	その他	一般 財源	主な実績等	担当所属名 (カッコ内は R2所属名)
10	検診事業	①②令和2年6～8月の複合集団検診中止に伴い、9月以降の検診の実施体制を大きく見直すことから、対象者約65,000人に対して通知を行う。	3,242,270	3,149,000	0	0	93,270	個別にハガキで予約制の周知を図ったことにより、集団検診会場での混乱を避けることができ、円滑に集団検診を実施することができました。	健康推進課 (健康増進課)
11	健康危機対策(新しい生活様式対応分)	①行事等開催時用及び公共施設来館者用の感染症対策備品を購入する。	2,477,475	2,406,000	0	71,400	75	市庁舎等の入口にサーマルカメラを設置、イベント等の開催用に体温計を常備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を推進することができました。 ・サーマルカメラ設置箇所…17箇所(庁舎入口9箇所) ・非接触式体温計…20本整備	健康推進課 (健康増進課)
12	感染症等予防事業(任意予防接種)	①②新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を抑制し、医療現場を健全に保つため、インフルエンザワクチンの接種費用の一部を助成する。	7,999,354	7,769,000	0	0	230,354	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を抑制するため、インフルエンザワクチン接種費用の一部を助成しました。 ・対象者:インフルエンザワクチン接種日において、妊娠の届出がされているかた、生後6か月から小学校2年生までの子ども(9,962人) ・助成金額:1,500円(ただし、予防接種に要した額がその額を下回る場合は、予防接種に要した額) ・助成者数:4,838人 ・制度利用率:48.56%(助成者数/対象者)	母子保健課 (健康増進課)
13	スマートオフィスプレイスにおける感染症対策	①市内におけるテレワーク等推進の拠点となる佐倉市スマートオフィスプレイスについて、3密対策・感染防止対策を行う。 ②検温用体温計、除菌機、間仕切り部材、消毒用具等の購入経費	500,000	486,000	0	0	14,000	佐倉市スマートオフィスプレイス(通称「コラボサクラ」)を安全に運営するため、同所の指定管理者が、検温用体温計、除菌機、消毒用具等を整備するなど、感染防止対策を講じました。なお、同所において、コロナ感染者の報告は受けていません。	産業振興課
14	公園内安心空間確保	①公園における感染予防を啓発する表示幕・看板を設置する。 ②公園における感染予防を啓発する表示幕・看板	1,364,015	1,325,000	0	0	39,015	市内都市公園290箇所において、感染防止の啓発看板及びソーシャルディスタンスの表示幕を設置し、市民に感染予防を促しました。	公園緑地課
15	学校保健特別対策事業費補助金	①学校の教育活動再開等に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品の購入及び夏季休業期間短縮等に伴う熱中症対策等に係る物品の購入する。 ②感染症対策備品、消耗品経費及び賃借料	78,808,685	38,234,000	39,364,000	56,000	1,154,685	段階的な学校再開に際して、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学習を保障するために児童生徒数に応じた上限額の範囲で、学校長の裁量で必要な物品等を購入し、臨時休校後、児童生徒及び教職員の感染リスクを低減しながら学校教育活動を実施することができました。	教育総務課、 指導課
16	市民体育館における感染症対策	①②市民体育館の施設再開にあたり、新型コロナウイルス感染症対策として施設の窓を常時開放して換気を行うため、窓に網戸を設置する。	3,355,000	3,259,000	0	0	96,000	佐倉市民体育館の各窓に防虫ネット及び網戸を設置、夜間も換気を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を推進することができました。 ・ネット及び網戸…201箇所(1階19箇所、2階43箇所3階139箇所)	生涯スポーツ課
17	図書館機器等整備	①②図書館における感染リスクを低減するため、利用者自身で貸出返却処理を行えるよう、自動貸出機等を導入し、併せて利用者の利便性の向上を図る。また、同様に図書消毒機を導入する。	183,014,634	177,755,000	0	0	5,259,634	○図書館における感染リスクの低減のため、自動貸出機、自動返却機・図書除菌機を設置しました。 ・自動貸出機(9台)、自動返却機(6台)の設置先:佐倉図書館、志津図書館、佐倉南図書館、志津分館、臼井公民館図書室 ・図書除菌機(3台)の設置先:佐倉図書館、志津図書館、佐倉南図書館	社会教育課

■令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	R2 実績額	コロナ交付 金充当額	国庫 補助額 (コロナ除く)	その他	一般 財源	主な実績等	担当所属名 (カッコ内は R2所属名)
◆市民の暮らし支援									
18	緊急対応型任期付職員採用	①採用内定取消又は雇止めにあったなど、新型コロナウイルス感染症により急速に悪化した雇用情勢に影響を受けた人を対象として、一般任期付職員(一般行政職)を採用する。 ・任期:令和2年9月1日～令和3年3月31日 ・職務内容:庶務・経理、企画・立案など一般行政事務 ②職員人件費(一般任期付き職員8名分)	16,611,325	15,217,000	0	0	1,394,325	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い離職を余儀なくされた方を任期付職員として採用することで、雇用面では次の就職が決まるまでの経済対策となり、市政運営の面では人材の有効活用となりました。 ・採用者数:8人 ・配置所属:債権管理課、ユーカリが丘出張所、高齢者福祉課、健康増進課、生涯スポーツ課、産業振興課、選挙管理委員会事務局、教育委員会事務局	人事課
19	障害福祉を支えるひと支援事業	①市内の障害福祉施設等に支援金を支給することにより、新型コロナウイルスの感染リスクがある中で働く施設等職員を支援し、雇用の維持を図る。 ②障害福祉施設等従事者への処遇改善、又は、入所施設については感染防止対策等職場環境の改善に要する経費を補助する。	15,706,165	15,255,000	0	0	451,165	障害福祉施設等を運営する36施設に従事者への特別手当の支給又は感染防止対策等職場環境改善に要する経費の補助を行いました。	障害福祉課
20	介護を支えるひと支援事業	①市内の介護事業所等に支援金を支給することにより、新型コロナウイルスの感染リスクがある中で働く介護職員を支援し、雇用の維持を図る。 ②介護施設等従事者への処遇改善、又は、入所施設については感染防止対策等職場環境の改善に要する経費を補助する。	57,368,496	55,720,000	0	0	1,648,496	介護施設等を運営する96法人に従事者への特別手当の支給又は感染防止対策等職場環境改善に要する経費の補助を行いました。	介護保険課
21	子育て世代の相談窓口開設	①保育園・学校の臨時休園等や外出自粛により家庭に閉じこもりかつ孤立傾向にある子育て中の保護者の不安及び休園休校再開等に伴う子育ての不安に対して、臨床心理士が電話相談を行うことで保護者の不安軽減を図る。 ②臨床心理士謝礼金	360,000	350,000	0	0	10,000	保護者からの新型コロナウイルスに関連する電話相談に応じる臨床心理士を子育て支援課(令和2年度)に配置し、保育園・学校の臨時休園等や外出自粛により家庭に閉じこもりかつ孤立傾向にある子育て中の保護者の不安及び休園休校再開等に伴う子育ての不安に対して、臨床心理士が電話相談を行うことで、保護者の不安軽減を図ることができました。 ・臨床心理士配置日数 24回 相談件数 38件	こども保育課 (子育て支援課)
22	ひとり親家庭等臨時給付金支給事業	①新型コロナウイルスの感染拡大の影響による学校等の臨時休業や事業所の休業等により、特に生活や就業に影響を受けやすいと考えられるひとり親世帯等に対する支援を行う。 ②児童扶養手当受給世帯に対し、1世帯あたり3万円に児童1人あたり1万円を加算した額を臨時給付金として支給	41,380,628	40,191,000	0	651,000	538,628	新型コロナウイルスの感染拡大の影響による学校等の臨時休業や事業所の休業等により、特に生活や就業に影響を受けやすいと考えられるひとり親世帯等に対して、1世帯あたり3万円に児童1人あたり1万円を加算した額を臨時給付金として支給しました。 ・支給世帯数:921世帯 ・支給対象児童数:1,375人	こども家庭課 (児童青少年課)
23	幼稚園等の臨時休園に伴う預かり保育料補助	①新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、幼稚園等は臨時休園となっている。その臨時休園中に保育が必要な子を中心に実施されている預かり保育は、長期休業期間中の料金体系となり、保護者の負担増となる。その保護者の経済的負担を軽減することを目的に実施する。 ②保護者への個人給付(保護者が負担する預かり保育の利用料金相当額)	1,348,655	1,309,000	0	0	39,655	幼稚園が臨時休園期間中(令和2年4月～6月)、その間の預かり保育の利用料金相当額を支援し、保護者の経済的負担を軽減することができました。 支援件数:200人分	こども政策課 (子育て支援課)

■令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	R2実績額				主な実績等	担当所属名 (カッコ内はR2所属名)	
			R2実績額	コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロ交除く)	その他			一般財源
24	生活福祉資金の特例貸付借入者への給付金	①②新型コロナウイルス感染拡大に影響を受けている方への生活費支援である、生活福祉資金特例貸付(社会福祉協議会の緊急小口資金又は総合支援資金生活支援費)を令和2年3月25日から令和2年12月31日までに申請し、借入れをしている方(世帯)に、給付金(5万円)を支給することにより、生活の不安を解消し、安定した生活の継続を図り、家計の負担軽減を図ることができる。	21,818,170	21,191,000	0	0	627,170	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民435人の家計の負担軽減を図ることができました。 ・支給金額:5万円 ・支給件数:435件 ・支援率:55.8%(支援件数435件/想定する対象件数780件)	社会福祉課
25	新生児すくすく応援給付金	①②国の特別定額給付金の支給対象から外れている4月28日以降、令和3年4月1日までに生まれた子どもに対し、国の特別定額給付金と同額の支援金(10万円)を支給する。 ※同学年となる子どもに同じように支給する。	65,675,316	63,788,000	0	1,887,000	316	・令和2年4月28日から令和3年3月31日の間に生まれ、佐倉市に最初の住民登録をしたお子さま(654人)を対象に、国の特別定額給付金と同額(10万円)を給付し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクに不安を抱えながらお子さまの誕生を迎えたご家族を支援しました。 ※令和3年度に24,000,000円繰越	健康推進課 (健康増進課)
26	保育業務等従事者慰労金交付	①②社会を支える基盤のひとつとして、緊急事態宣言以降も原則開所・事業継続を要請され、解除後も感染リスクがある中で、保育業務等に従事する者(民間施設及び指定管理者制度導入施設に勤務する者に限る)に対し、慰労金を支給する。クラスターが発生した事業所に従事する者には追加の慰労金を交付する。	63,226,733	61,410,000	0	0	1,816,733	・幼稚園、保育所、学童保育所、認可外保育施設などで保育業務等に従事する者に対して、慰労金を支給しました。 (支給額:雇用保険加入者5万円、それ以外2万円) ・延べ1284人の保育業務従事者を支援しました。	こども政策課 (子育て支援課)
27	子ども・子育て支援交付金	①②新型コロナウイルス感染対策による臨時休所等で減少した保育料収入を学童保育所を運営する指定管理者と民間学童保育所に支出することにより、安定的な運営に寄与する。	16,683,100	5,401,000	5,561,000	5,561,000	160,100	・感染拡大防止として市が要請した、学童保育所の臨時休所等に伴う、事業者の保育料収入の減収分を補てんすることができました。 保育料減免申請件数 R2.4月～6月 合計3,209件	こども政策課 (子育て支援課)
28	母子保健衛生費補助金	①②里帰りが困難になった妊産婦を対象に、里帰りをしなくても安心して産前・産後期を過ごせるよう、民間の育児支援サービス等の利用に係る費用の補助を行う。(4月1日まで遡り)	354,142	172,000	177,000	0	5,142	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、里帰りができなくなった妊産婦が、民間などの育児・家事支援サービスを利用する費用を助成しました。 ・月4回まで1回10,000円を上限 45回分	母子保健課 (健康増進課)
29	小中学校就学援助事業	①就学援助制度で認定した準要保護世帯の経済的負担の軽減を図る。 ②学校給食を提供できない期間、学校給食費相当額を支給する。	9,374,509	9,105,000	0	0	269,509	就学援助制度で認定した準要保護世帯の経済的負担軽減を図るため、市内小中学校(小23校、中11校)において、令和2年春の緊急事態宣言下において学校給食を提供できない期間、学校給食費相当額を支給しました。	学務課
30	学校臨時休業対策費補助金	①②令和2年3月の学校臨時休業に伴う学校給食の中止に係る費用の補助。給食食材のキャンセルできなかった費用について、保護者負担が生じる費用を補助する。	3,721,400	904,000		2,791,000	26,400	新型コロナウイルス感染症感染拡大による学校臨時休業(令和2年3月)に伴う学校給食の中止(キャンセルできなかった給食食材費)で生じた、市内全小中学校(34校)に通う児童・生徒の保護者の負担を軽減することができました。	指導課

■令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	R2実績額				主な実績等	担当所属名 (カッコ内はR2所属名)	
			R2実績額	コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他			一般財源
31	給食継続実施支援事業	①②令和2年4月の学校臨時休業に伴う学校給食の中止に係る費用の補助。給食食材のキャンセルできなかった費用について、保護者負担が生じる費用を補助する。	441,486	391,000	0	0	50,486	新型コロナウイルス感染症感染拡大による学校臨時休業(令和2年4月)に伴う学校給食の中止(キャンセルできなかった給食食材費)で生じた、市内全小中学校(34校)に通う児童・生徒の保護者の負担を軽減することができました。	指導課
32	学校行事中止等に係る経費補助事業	①小中学校に修学旅行及び校外学習等のキャンセル料を補助することにより、保護者に経済的負担をかけず、児童・生徒が安心して教育を受ける環境を提供する。 ②学校行事の中止に伴い事業者等に支払うキャンセル料	5,051,974	4,557,000	0	360,390	134,584	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、学校行事を中止した学校に対し、「佐倉市学校行事中止等に係る経費補助金」を交付し、経済的負担を軽減しました。 ・対象者:佐倉市立小中学校長 ・支給件数:小学校分 1校(1件) 中学校分 11校(15件) ・支給額:小学校分 52,800円 中学校分 4,638,784円	学務課
◆新しい生活様式の推進									
33	遠隔地会議システムの導入	①職員、市民及び事業者等が市役所に来庁せずに会議や打合せ等に参加できるようにすることで感染拡大を防止する。 ②Web会議システムのライセンス購入、TV会議連携ソフトウェア、WEBカメラの購入	266,523	259,000	0	0	7,523	・Web会議システムのライセンスや既存TV会議システム連携ソフトウェアを導入し、庁内外においてWEB会議を普及させることで、3密を避けるための感染防止対策を推進しました。 ・会議や打合せにとどまらず、記者会見やオンラインセミナーなどの幅広く用途で活用し、新しい生活様式下の市政運営に寄与しました。 ・延べ利用回数 R2.6.1～R3.3.31 延べ485回 ・主な利用実績 定例記者会見、部課長会議、市民参加オンラインセミナー、庁外事業者との各種打合せ、庁内打合せ、テレワーク職員との庁内打合せ 等	情報システム課
34	テレワーク環境の整備	①感染拡大防止のため、職員のテレワーク環境を整備する(同時接続数 200台)。また、テレワークやサテライト拠点と本庁間において、離れた職員同士の音声通話を可能にする。 ②テレワークPC起動用のUSBメモリ購入、テレワーク時に使用する会話用ヘッドセットの購入	888,250	863,000	0	0	25,250	・職員のテレワーク・サテライト勤務の環境を整備し、分散勤務を広く展開することで、感染拡大防止を推進することができました。 ・環境整備にあたっては、既存機能を有効活用した仕組みとすることで、同時接続数200台、且つ安価に実現することが出来ました。 ・利用実績 R2.9.1～R3.3.31 延べ4,143接続 ・1日の最大利用数 91接続(R3.1.19)	情報システム課
35	小中学校情報機器整備事業	①GIGAスクール構想の児童生徒1人1台端末の実現に向け、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用することにより、子どもたちが学ぶための学習環境を整備する。 ②タブレット端末及びクラウド型学習コンテンツの整備に係る経費	335,402,480	323,039,000	0	1,380,000	10,983,480	新型コロナウイルス感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、子どもたちが学ぶことができる学習環境を整備するため、市内小学校(23校)、中学校(11校)において、タブレット端末及びクラウド型学習コンテンツ等を整備しました。	学務課

■令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	R2実績額				主な実績等	担当所属名 (カッコ内はR2所属名)	
			R2実績額	コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロ交除く)	その他			一般財源
◆中小企業等支援、経済の活性化									
36	地域公共交通対策	①地域公共交通の維持・継続のため、公共交通事業者への支援を実施する。 ②路線数・車両数等に応じた支援を行う。	13,500,000	13,112,000	0	0	388,000	コロナ禍において利用が激減した公共交通事業者8事業者に対し、計13,500千円を支給し、事業の維持・継続を支援しました。	都市計画課
37	農業支援	①新型コロナウイルス感染症により、農作業において「3密」回避のために作業効率が低下し、売上減少や経費の増加など農業経営へ影響も出ている。市内農業者の営農継続及び今後の発展を図るため、農業継続に意欲的な販売農家の次期作への取組に対して支援を行う。既存事業で補助率1/3の施設・機械の支援を行っており、これを拡充することで、市内の農業生産体制の維持・強化を行う。 ②販売農家に対して施設及び機械整備、資器材・種苗の購入のための経費を助成する。	66,099,000	64,199,000	0	0	1,900,000	水田、園芸、畜産の各農家の種苗(イネ種子や野菜苗など)及び資器材(培土や農薬など)の購入に対し、助成することにより、次期作への取組を後押し、コロナ禍の影響による生産量減少の動きを抑制することができました。 また、ビニールハウスや管理機といった園芸用生産設備、及び、田植機や乾燥機、色選機といった水田用生産機械のそれぞれの導入に対し、助成することにより、生産の効率化や省力化への投資を促進し、コロナ禍における持続可能な経営基盤の育成につなげることができました。 なお、補助対象者や補助要件等については、交付申請時にコロナ禍の影響内容や確定申告での農業収入の有無、補助の対象経費に該当するか否かを確認・審査しました。	農政課
38	小規模事業者応援給付金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内小規模事業者の事業継続を支援する。 ②新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上が前年同月比20%以上減少している小規模事業者に対して、100千円を給付する。また、総合相談窓口において、市職員だけでなく、業務委託契約に基づき、行政書士及び電話等窓口対応の事務員が従事する。	203,857,034	197,998,000	0	0	5,859,034	補助金支給件数 2,005件 支給率 74.3%(2,005件/約2,700件) 支援に対する満足度 80.8%(261件/323件) アンケートで事業内容に「とても満足」または「満足」と回答した人の割合 事業者総合相談件数 (8月～10月)659件(電話:245件、窓口414件)	産業振興課
39	商業・サービス業応援寄付プロジェクト	①民間事業者のアプリサービスを活用し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内商業・サービス業者(飲食店等)への代金先払い及び寄付を募ることで、事業者の事業継続及び収束後の回復を支援する。なお、本プロジェクトへの参加を促進するため、利用額に応じて一定のプレミアムを付与し、利用を促進する。 ②プロジェクトの企画・運営(事業の周知、参加店とりまとめ、特設ホームページ開設・運営等)に要する経費	5,883,655	5,715,000	0	0	168,655	・民間事業者のプラットフォームを活用した市内商業・サービス業者への代金先払い・寄付システム「さきめし佐倉」を立ち上げ、新型コロナウイルスの影響を受けている市内事業者の事業継続等を支援しました。 ・事業の実施にあたっては、チケット購入を促進するため25%プレミアムキャンペーンを実施しました(9月1日～10月19日) ・事業実施(事業の周知や店舗募集、問い合わせ対応等)にあたっては、市内事業者精通している佐倉商工会議所に委託しました。 ・登録店舗数 40店 応援金額 10,572,000円 寄付金額 187,000円	産業振興課
40	キャッシュレス事業者との協力による市内消費喚起及び新しい生活様式の推進	①市内店舗等でキャッシュレス決済を利用するとポイントを還元するキャンペーンを実施する。なお、中小企業者を対象とし、大手チェーン店は含まない。 ②キャッシュレス決済をしたときのポイント還元費及び事業の周知・広告に係る経費	27,874,353	27,073,000	0	0	801,353	PayPay株式会社と連携し、ポイント付与キャンペーン(20%)を開催し、市内店舗における購買意識を高め、需要を喚起した。 ・実施期間:令和2年11月1日～令和3年1月31日 ・参加555店舗(開始時点と比較し201店舗キャッシュレス導入増) ・対象店舗での期間中売上額:約1,341,223,840円	産業振興課
41	中小企業支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内中小企業の資金繰りを支援する。 ②市制度融資を利用する市内中小企業の借入利息助成に係る経費(令和2年度新規分から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業者の運転資金に限り、助成率を現行1/2から99/100に引上げ。)	4,377,335	4,251,000	0	0	126,335	設備資金2件、運転資金3件、計5件の新規融資を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の資金繰りを支援することができました。	産業振興課

■令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績一覧

No.	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	R2 実績額	R2実績額の内訳			主な実績等	担当所属名 (カッコ内はR2所属名)	
				コロナ交付金充当額	国庫補助額 (コロナ除く)	その他			一般財源
42	小規模事業者家賃支援	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内小規模事業者の事業継続を支援する。 ②市内小規模事業者(市内約3,000社)のうち売上減少率20%以上のテナント事業者を対象に、家賃支援として10万円を給付する。	54,547,390	52,980,000	0	0	1,567,390	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内小規模事業者(市内約3,000社)の事業継続を支援するため、売上減少率20%以上のテナント事業者625件に、家賃支援として10万円を給付しました。 ・支給事業者数:625社 ・支給率 69.4%(625件/900社) 支給件数/想定対象者数(約900社) ・支援に対する満足度80.8%(261件/323件) …アンケートで事業内容に「とても満足」または「満足」と回答した人の割合	産業振興課
43	プレミアム付商品券発行支援事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている市内商業者の事業継続支援及び地域消費喚起 ②佐倉商工会議所が実施する「佐倉市プレミアム商品券発行事業」のプレミアム分に係る経費	40,797,923	39,625,000	0	0	1,172,923	佐倉商工会議所が実施するプレミアム商品券事業のうち、プレミアム分に係る経費を支援し、市内における消費を喚起した。 ・市内店舗で使用できる1冊13000円分の商品券を1万円で購入(プレミアム30%)3万冊発行。 ・使用期間:令和3年1月12日～5月31日 ・参加店舗:大型店24店、中小型店449店、計473店舗 ※令和3年度に49,202,000円繰越	産業振興課
44	緑と花づくり事業	①イベント中止等により売り上げ減少等の影響を受けている市内花農家の経営継続と、市内産花の需要喚起を図るため、市内産の花を購入し、学校や公民館、病院、福祉施設などに配布することで、医療従事者等への感謝を示す。 ②配布用花束、配布用花苗他	6,605,920	6,416,000	0	0	189,920	イベント中止等により売り上げ減少等の影響を受けている市内花農家の経営継続、市内産花の需要喚起を図るとともに、医療従事者等への感謝を示すため、市内産の花を購入し、学校や公民館、病院、福祉施設などに、ユリの花束(446施設)、ノースポール及びアリッサムの苗(105施設)を配布しました。 ※配付数 ユリ 446束 ノースポール 9600株 アリッサム 9600株	公園緑地課
			1,434,998,168	1,317,534,000	54,114,000	20,369,216	42,980,952		